

議事日程第1号

平成29年6月12日(月)

第1 会期の決定

第2 会議録署名議員の指名

第3 永年勤続者の表彰状伝達

全国市議会議長会

(議員20年以上) 畠山富勝君

中田謙三君

(議員15年以上) 船木正博君

(議員10年以上) 木元利明君

第4 議案上程(議案第47号から第58号まで及び報告第4号から第9号まで)

提案理由の説明(市長)

本日の会議に付した事件

議事日程に同じ

出席議員(19人)

1番 佐藤巳次郎	2番 三浦一郎	3番 米谷勝
4番 木元利明	5番 伊藤宗就	6番 古仲清尚
7番 笹川圭光	8番 安田健次郎	9番 進藤優子
10番 吉田清孝	11番 船木金光	12番 船橋金弘
13番 畠山富勝	14番 船木正博	15番 中田謙三
17番 土井文彦	18番 三浦桂寿	19番 高野寛志
20番 三浦利通		

欠席議員(1人)

16番 小松穂積

議会事務局職員出席者

事務局長	加藤秋男
副事務局長	畠山隆之
局長補佐	杉本一也
主査	吉田平

地方自治法第121条による出席者

市長	菅原広二	副市長	笠井潤
教育長	鈴木雅彦	監査委員	湊忠雄
総務企画部長	船木道晴	市民福祉部長	柏崎潤一
産業建設部長	藤原誠	教育次長	木元義博
企業局長	佐藤盛己	企画政策課長	八端隆公
総務課長	目黒雪子	財政課長	田村力
税務課長	田口好信	生活環境課長	伊藤文興
健康子育て課長	加藤義一	介護サービス課長	佐藤庄二
福祉事務所長	(市民福祉部長兼任)	農林水産課長	武田誠
観光商工課長	清水康成	建設課長	佐藤透
病院事務局長	山田政信	会計管理者	菅原信一
学校教育課長	鑑長光	生涯学習課長	鎌田栄
監査事務局長	小澤田一志	企業局管理課長	菅原長
選管事務局長	(総務課長兼任)	農委事務局長	(農林水産課長兼任)

午前10時02分 開 会

○議長（三浦利通君） 皆さん、おはようございます。これより、平成29年6月定例会を開会いたします。

小松穂積君から欠席の届出があります。

当局から例月現金出納検査結果報告書及び男鹿市財政報告書の送付がありましたので、ご配付いたしております。

なお、諸般の報告は朗読を省略いたします。

○議長（三浦利通君） ただちに本日の会議を開きます。本日の議事は、議事日程第1号をもって進めます。

日程第1 会期の決定

○議長（三浦利通君） 日程第1、会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から6月27日までの16日間としたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（三浦利通君） ご異議なしと認めます。よって、会期は16日間と決定いたしました。

日程第2 会議録署名議員の指名

○議長（三浦利通君） 日程第2、会議録署名議員の指名を行います。

6番古仲清尚君、7番笹川圭光君を指名いたします。

日程第3 永年勤続者の表彰状伝達

○議長（吉田清孝君） 日程第3、永年勤続者の表彰状伝達を行います。

先般開催されました第93回全国市議会議長会定期総会において、畠山富勝君及び中田謙三君が議員在職20年以上の特別表彰を、また、船木正博君が議員在職15年以上、木元利明君が議員在職10年以上の永年勤続者として表彰されております。

これより伝達を行いますので、演壇の前にお進み願います。

暫時休憩いたします。

午前 10 時 05 分 休 憩

午前 10 時 09 分 再 開

○議長（吉田清孝君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

日程第 4 議案第 47 号から第 58 号まで及び報告第 4 号から第 9 号までを一括上程

○議長（三浦利通君） 日程第 4、議案第 47 号から第 58 号まで及び報告第 4 号から第 9 号までを一括して議題といたします。

職員に議案を朗読させます。

【職員朗読】

議案第 47 号 男鹿市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 48 号 男鹿市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について

議案第 49 号 男鹿市中小企業振興資金融資あっせんに関する条例の一部を改正する条例について

議案第 50 号 財産の無償譲渡について

議案第 51 号 市道の廃止について

議案第 52 号 市道の認定について

議案第 53 号 平成 29 年度男鹿市一般会計補正予算（第 4 号）について

議案第 54 号 平成 29 年度男鹿市国民健康保険特別会計補正予算（第 1 号）について

議案第 55 号 平成 29 年度男鹿市介護保険特別会計補正予算（第 1 号）について

議案第 56 号 平成 29 年度男鹿市上水道事業会計補正予算（第 1 号）について

議案第 57 号 平成 29 年度男鹿市ガス事業会計補正予算（第 1 号）について

議案第 58 号 平成 29 年度男鹿市下水道事業会計補正予算（第 1 号）について

- 報告第 4号 平成28年度男鹿市一般会計継続費繰越計算書について
報告第 5号 平成28年度男鹿市一般会計繰越明許費繰越計算書について
報告第 6号 平成28年度男鹿市下水道事業会計予算繰越計算書について
報告第 7号 和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分について
報告第 8号 平成28年度株式会社おが地域振興公社の決算について
報告第 9号 平成29年度株式会社おが地域振興公社の事業計画について
-

○議長（三浦利通君） 提案理由の説明を求めます。菅原市長

【市長 菅原広二君 登壇】

○市長（菅原広二君） 皆さん、おはようございます。

本日、平成29年6月定例会を招集し、諸議案のご審議をお願いするものでありますが、先ほど全国市議会議長会から、畠山富勝議員と中田謙三議員が議員在職20年以上の永年勤続特別表彰を、また、船木正博議員が議員在職15年以上、木元利明議員が議員在職10年以上の永年勤続表彰を受けられました。

表彰を受けられました皆様には、長い間本市の発展にご尽力を賜りました。そのご功績に対し、深く敬意を表するものであります。今後ともご自愛くださいます、市政の発展に一層のご貢献を賜りますようお願い申し上げます。

本定例会は、私にとりまして市長就任後初めての定例会でありますので、今後における施政方針の一端を申し述べ、議員各位並びに市民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

私は、多くの先人のご努力により培われてきた男鹿市の歴史に深く敬意を表するとともに、今日、本市の抱える諸問題を解決し、日々変化する現代社会において、市政のさらなる発展を図ることが私に与えられた最大の責務であると存じております。

市政の執行に当たりましては、常に市議会と密接な連携を保ち、誠心誠意取り組んでまいり決意でありますので、皆様からのご支援、ご協力をお願い申し上げます。

まず、私は、市政運営の基本方針として、すべての市民が心をつなげて「オール男鹿」で前に進んでいくことが大事であると考えており、市民満足度を高めるため、市民との対話を積極的に進め、市民生活優先のきめ細かな施策・事業を推進してまいりたいと存じます。

秋田県、特に本市では、雇用の場の減少、人口の流出、少子高齢化が最大の課題となっております。本市にある資源は、県内でも一番の可能性を持っており、県議会議員時代には、多くの県民から「男鹿がよくなれば秋田県全体がよくなる」とのご意見を伺いましたが、今が地域再生のラストチャンスと捉え、各地域の問題点を洗い出し、課題解決に向けて邁進することが必要と考えております。

また、人がいきいきと暮らす地域には、おのずと人が集まってくると考えており、まずは市役所で働いている全職員が生きがいを持って仕事に取り組める職場環境を整えることで、働く意欲を高め、本市を訪れる人たちの満足度につなげてまいりたいと存じます。

地域のよいところを再発見し、郷土愛を深めていくことが、「おもてなし」につながり、地域の活力の源になります。人は人のために生きるときに、最高のパフォーマンスを発揮します。そして、人のために生きる人には、手助けの人が自然に集まってきます。そのような文化をつくるとともに、美しい自然、歴史文化などの地域資源を活用した観光の推進や農林水産業の振興により、経済の底上げを図ってまいります。

市政の運営に当たりましては、市民の皆様のご要望に沿えるように、行政も可能な限りこたえていくことが重要であり、県との連携を一層強化しながら、地域活力の創出に渾身の力で取り組みます。

特に本市の行政課題を市民に提示していくことが大事であると考えており、市民におかれましても、本市の抱えているさまざまな課題を「市民一人ひとりが自分の問題」として捉えていただきたいと思っております。そのためには、市民に解決策を提示し、よく説明するとともに、市民のご意見も大いに取り入れながら、地域と一体となって市政の発展に努めてまいりたいと存じます。

去る6月3日には、各地区振興会長、町内会長を対象に「市長とのふれあいトーク」と題して、本市で今年度行われる主要な事業や行事等を説明いたしました。これからも積極的に情報をオープンにすることで、開かれた市政運営を図ってまいります。今後は、市内各種団体や国・県の関係者との情報交換会も定期的に行うことで、連携を深めてまいります。

また、全職員を対象に「私の思いと生き方」を直接伝える機会を設けるとともに、

昼時間を利用してのランチミーティングを行うことで、意思の疎通を図っております。

私は、さきの市長選挙において、公約として次の8点の施策を市民の皆様に訴えてまいりました。

第1点目は、複合観光施設を活用した地場産業の発展と、新たな雇用の創出を図ることです。

農業では、新鮮・安心・安全な地場産農産物を販売することで、地産地消の取り組みを促進してまいります。また、顧客ニーズに合った農産物の生産や直接販売等を行うことで、生産者の栽培意欲の高揚と農業所得の向上を目指してまいります。

漁業では、つくり育てる漁業と、漁業者の収入増加のため、急速冷凍設備を利用した魚介類の保存や加工品開発により、水産物の安定的な供給体制の確立を図り、複合観光施設と連携した漁業の振興を推進し、もうかる漁業、周年漁業を目指してまいります。

さらに、JR男鹿線は、市民にとって重要な公共交通機関であると同時に、男鹿半島に訪れる観光客の移動手段でもあります。JR東日本からは、終着駅である男鹿駅を生かした観光誘客戦略を展開し、複合観光施設との相乗効果が得られるよう、さきに導入された新型車両をはじめ、さまざまな形で協力をいただけると伺っております。今後もJR東日本と連携し、観光の振興を図ってまいります。

2点目は、農林業の支援についてであります。

農業については、新規就農者を継続的に支援するとともに、受け皿となる法人等についても育成・支援してまいります。

また、農山村景観の保全活動等で地域の活性化を目指してまいります。

林業については、病虫害被害などで荒廃している森林を、景観に配慮した整備事業などにより、林業者の人材確保・育成とともに推進してまいります。

第3点目は、交通網の整備についてであります。

道路は、国民生活や経済・社会活動を支える最も基本的で重要な社会資本であり、国土の均衡ある発展と地域連携強化や活力ある地域づくりの推進を図るためには欠くことのできない基盤施設で、その整備は緊急の課題であります。

本市は、自動車交通への依存度が極めて高く、道路は重要な交通基盤となっております。

り、活力ある地域経済社会の発展を図るためには、緊急かつ計画的に道路整備を推進する必要があります。

男鹿の豊かな観光資源の開発や産業経済・交通輸送などに大きく寄与する旧寒風山有料道路の継続的な改良工事のほか、秋田・青森両県を結ぶ重要な幹線道路であり、日本海沿岸東北自動車道、国道7号とのアクセス道となる国道101号浜間口地区の狭隘・急坂部の解消に向けたバイパス事業の早期完成について要望し、豊かな生活基盤の確立と活力ある地域づくりを進めてまいります。

第4点目は、観光の振興についてであります。

観光は、すべての産業に影響を及ぼす総合戦略産業であります。大切なのは、訪れた方と地域の人とのつながりを育むことであり、訪れた方をもてなす心であります。観光産業の関係者だけでなく、一般市民も観光に関心を持ち、「おもてなしの心」を育む地域づくりを進めていくほか、DMOを推進し、農業、漁業などをはじめとしたあらゆる産業と市民の自主的な活動をつなぎ、観光振興を図ってまいります。

第5点目は、教育を実学に生かすことができるようにする地域資源を生かした男鹿独自の教育振興を図ることです。

本市では、全小・中学校をコミュニティ・スクールに指定し、学校・保護者・地域が一体となって取り組みを展開しております。今後も地域の自然や人材などの資源を有効に活用しながら、児童・生徒が地域社会とかわりをもつ活動を構築するなどして、地域に根差した質の高い教育を推進してまいります。

コミュニティ・スクールの取り組みにおいては、学校づくりと地域づくりが連動するように進めることで、学校の活力の維持と地域の活性化につなげてまいります。

また、本市には、ジオパークに代表される豊かな自然やナマハゲをはじめとした独自の文化、国指定の史跡脇本城跡など、誇れる資源がたくさんあります。これら一つ一つが市民の貴重な財産であり、保護・継承はもとより、自然体験学習や歴史学習の資源としても一層の活用を図るとともに、これらの地域資源を観光振興にも結び付け、交流人口の拡大につなげてまいります。

男鹿半島・大潟ジオパークについては、本年10月に本市と大潟村を会場に開催される「第8回日本ジオパーク全国大会」で、男鹿の豊かな自然や文化、食を全国に発信し、再び本市を訪れてもらえるように努めてまいります。

また、このたび、日本城郭協会から「続日本100名城」に選ばれた脇本城については、整備計画に基づいて整備に努めるとともに、全国から城郭ファンが訪れるよう、歴史的価値を市内外にアピールしてまいります。

第6点目は、健康寿命を延ばし、本市に住み続けたいと思える福祉の充実であります。

心のこもった福祉を実現するためには、市民の協力が不可欠であります。一人ひとりが自立し、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、福祉・介護サービスの一層の充実はもちろんのこと、相互の支え合いや助け合いによる地域福祉、地域社会の構築を図るため、市民の皆様に積極的な参加を呼びかけてまいります。

病気への不安に備え、男鹿みなど市民病院を中心として、市全域を視野に入れた地域医療について考えていくとともに、「認知症支援策の充実」、「医療との連携」、「高齢者の居住に係る施策との連携」、「生活支援サービスの充実」といった重点事項を地域の実情に応じて位置づける「地域包括ケアシステム」の構築を進めてまいります。

また、介護予防の推進、生きがいづくりを目指し、高齢者がスポーツに親しみながら健康増進と維持、そして相互の親睦を図ることができるよう、多種多様なスポーツ、レクリエーション活動を通じた健康づくりとふれあい交流の機会の拡充に努めてまいります。

第7点目は、人口減少対策についてであります。

人口減少・少子化に対しましては、「子育てしやすい環境を整える」ことに引き続き傾注してまいります。特に「おがっこネウボラ」は、保健師・助産師・臨床心理士を中心としたワンストップの総合窓口であります。妊娠時から就学時まで切れ目のない包括的な支援のさらなる充実に取り組むとともに、保育サービス、経済的支援、ワークライフバランスなど、働きながらの子育て、地域の見守りなど多面的な施策の積み重ねを図ってまいります。

また、市外から人を呼び込む施策を推進することも重要であることから、観光振興による交流人口の拡大のほか、移住者の受入体制の強化や移住者に対する暮らしの支援を行ってまいります。

第8点目は、財政の健全化と機構改革についてであります。

財政の健全化についてであります。経営の基本は「入るを量り、出づるを制す」であります。私がこれまでの会社経営で培ってきた経営感覚やネットワークを生かし、みずから営業の先頭に立ち、産業の活性化や男鹿への誘客を図ることにより、税収の増加に努めてまいります。

あわせて、原価意識を持ち、最小の経費で最大の効果が得られるよう、行政運営の効率化や公共施設など総合管理計画に基づく施設の再編に取り組んでまいります。

機構改革についてであります。縦の連携、横の連携を図りながら、スピーディーに物事を解決できる組織づくりに努めてまいります。

中でも男鹿への誘客を図るためには、観光部門の強化が必要であることから、スポーツを含むイベント担当窓口を一元化した（仮称）「イベント課」の新設、男鹿の豊かな海の幸・山の幸、男鹿の歴史・伝統・文化を融合させて男鹿を売り込む（仮称）「男鹿まるごと販売課」の新設など、組織機構の見直しを行ってまいります。

私は、これらの施策を推進することにより、元気な男鹿をつくり、次の世代へつないでいくための基礎固めができるものと考えております。事業の実施に当たりましては、私の県議会議員として培ってきた人脈など、あらゆる英知を結集するとともに、新しいきずなと新しい発想で、スピード感を持って職務に当たり、活気のある新たな本市づくりに努めてまいります。

次に、市政に係る諸般の報告を申し上げます。

まず、5月31日に出納閉鎖いたしました平成28年度一般会計決算の概要についてであります。

歳入総額は、172億3千793万円、歳出総額は、168億6千250万円となり、このうち継続費及び繰越明許費に係る繰越財源を除いた実質収支では、2億8千565万円の黒字決算となっております。

なお、元税務課職員公金着服事件による一般会計における現金不足額は1千189万7千685円となっており、各特別会計における現金不足額は、平成28年度において一般会計で補てんしております。

次に、平成28年度の男鹿みなと市民病院事業会計決算の概要についてであります。

平成28年度においては、一般会計から3千万円の追加繰り入れを行ったことなど

により、純利益は2千649万9千円となっております。

また、年度末の流動資産が流動負債を5千469万8千円上回り、平成27年度に引き続き、不良債務は発生しない見込みであります。

次に、男鹿市総合防災訓練についてであります。

「県民防災の日」に当たる5月26日に、船越地区において、地区住民、保育園児、小・中学生、防災関係機関など約1千200人の参加をいただき総合防災訓練を実施いたしました。

ことしは、大津波の襲来を想定した津波避難訓練を行ったほか、秋田海上保安部と男鹿地区消防本部が連携し、津波漂流者の水難救助救出訓練を実施いたしました。

男鹿東中学校では、避難所を開設し、生徒と自主防災組織の連携による避難所運営業務の訓練などを実施いたしました。

また、当日は、市内の保育園、幼稚園、小・中学校、市内57の自主防災組織、約3千300人が避難訓練を実施しております。

多くの皆様からご参加いただき、防災意識の高揚に成果を上げることができました。ご協力いただきました皆様に、厚くお礼申し上げます。

次に、農業の状況についてであります。

米の需給調整につきましては、転作面積目標が昨年より5ヘクタール増加し、1千913ヘクタールになっており、引き続き加工用米、大豆などの作付けを推進し、農家所得の確保に努めております。

経営所得安定対策につきましては、男鹿市農業再生協議会が今月30日まで、対象農家1千124戸の交付申請書を取りまとめ、手続をしているところであります。

次に、漁業の状況についてであります。

秋田県漁業協同組合によりますと、本年1月から4月までの漁獲量は822トン、漁獲金額は3億617万円で、昨年同期と比較し、漁獲量で70トン、8パーセントの減となっており、主にアジとベニズワイガニ、マスの漁獲の減によるものと伺っております。

漁獲金額では1千447万円、5パーセントの減となっており、主にマスとベニズワイガニ、メバルの漁獲の減によるものと伺っております。

次に、チャレンジデーについてであります。

今回で6回目の参加となるチャレンジデーが去る5月31日に開催され、本市の参加者数は1万5千966人で、参加率は、昨年を4.4ポイント上回り、過去最高の55.1パーセントでありました。

なお、対戦相手の北海道幕別町の参加率は51.1パーセントでありました。

また、チャレンジデーにあわせて町内会や市民団体による清掃活動も実施されたと伺っております。ご協力をいただいた市民、関係各位に対し、厚くお礼を申し上げます。

次に、平成29年度国民体育大会東北ブロック大会兼第44回東北総合体育大会ビーチバレーボール競技についてであります。

本大会は、本年7月22日開会式、翌23日競技日として、宮沢海岸特設会場にて男子・女子の種目が開催されます。東北各県から選手・役員含め約70名が参加されますので、市民の皆様からの温かいご声援をよろしくお願いいたします。

次に、観光の状況についてであります。本年4月・5月における観光客日帰り入り込み数は、4月が9万4千612人、5月が23万1千298人で、昨年同期と比較して4月が3パーセントの増、5月が14.8パーセントの増となっております。宿泊客数は、4月が9千537人、5月が1万5千390人で、昨年同期と比較して4月が20.1パーセントの増、5月が2.4パーセントの増となっております。

次に、なまはげライドについてであります。

5月20日・21日の2日間にわたって行われた、この自転車イベントは、今回で3回目となり、全国各地から約400名と、多くの方々から申し込みをいただきました。天候も安定し、参加者の皆様には、すばらしい景観や地元の味など、存分に味わっていただけたのではないかと感じております。イベント運営に携わっていただいた関係者、ボランティアの方々に、この場をお借りして改めて感謝いたします。

次に、クルーズ船の船川港への寄港についてであります。

5月12日に「ぱしふいっくびいなす」、5月20日には外国船籍の「ブレーメン」が船川港に入港し、「船川港クルーズ船寄港歓迎実行委員会」が主体となり、歓迎セレモニーのほか、物産販売や民謡と踊りの披露、なまはげとの記念撮影などの各種イベントを行いました。当日の乗船客数は、「ぱしふいっくびいなす」305名、「ブレーメン」は135名で、そのうちオプションツアーにより、「ぱしふ

いっくびいなす」では123名、「ブレーメン」では24名の方々から男鹿観光のコースに参加していただいております。

このほか、「ブレーメン」では、埠頭と男鹿駅の区間でシャトルバスを運行し、船川神明社例大祭の宵祭りの出店などへのご案内も行い、多くの乗船客に船川地区のまち歩きを楽しんでいただくなど、市民とのふれあいによる、おもてなしができたものと考えております。

次に、雇用情勢についてであります。

4月末現在の秋田県の有効求人倍率は1.33倍となっております。ハローワーク男鹿管内の有効求人倍率は0.81倍となっており、昨年同期と比較して0.1ポイントの増となっております。

次に、元税務課職員による公金着服事件についてであります。

元職員に対しては、地方自治法に基づき賠償命令を行っておりますが、一部の債務を認めているものの、すべての債務は認めておりません。このことから、債権回収のための訴訟費用等に充てることを目的として、本年4月にOBを含めた市職員へ寄附の呼びかけを行っており、寄附の意向があったOBの方々に対して納入通知書を送付しておりますが、現時点での寄附の納入はありません。

以上で諸般の報告を終わり、次に提案理由のご説明を申し上げます。

まず、議案第47号男鹿市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例については、平成29年7月1日から平成33年3月31日までの期間、市長、副市長及び教育長の給料月額及び期末手当の額を引き下げるとともに、条文を整理するため、本条例の一部を改正するものであります。

次に、議案第48号男鹿市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例については、男鹿みなと市民病院の一般病床数を変更するため、本条例の一部を改正するものであります。

次に、議案第49号男鹿市中小企業振興資金融資あっせんに関する条例の一部を改正する条例については、男鹿市中小企業振興資金の融資対象に、新規に創業しようとする者を追加することにより、本市産業の振興を図るため、本条例の一部を改正するものであります。

次に、議案第50号財産の無償譲渡については、市有財産のうち、旧野石地区農村

集落多目的共同利用施設の建物を野石町内会に無償譲渡するものであります。

次に、議案第51号市道の廃止については、調査等に伴い、中台3号線など21路線の市道を廃止するものであります。

次に、議案第52号市道の認定については、開発行為等に伴い、内子39号線など25路線の市道を認定するものであります。

次に、議案第53号平成29年度男鹿市一般会計補正予算第4号については、複合観光施設整備事業費、男鹿山温泉2号井揚湯設備更新工事費、史跡脇本城跡公有化事業費のほか、町内会交付金、子育て応援米支給事業費などを措置したもので、歳入歳出それぞれ12億1千840万円を追加し、補正後の予算総額を162億120万円とするものであります。

次に、議案第54号平成29年度男鹿市国民健康保険特別会計補正予算第1号については、歳入では、所得の確定に伴う保険税の見直しや繰越金を措置したものであり、歳出では保険給付費の減額及び療養給付費負担金返還金等を措置したもので、歳入歳出それぞれ1億115万9千円を減額し、補正後の予算総額を48億6千12万7千円とするものであります。

次に、議案第55号平成29年度男鹿市介護保険特別会計補正予算第1号については、地域密着型サービス施設の整備に係る補助金を措置したもので、保険事業勘定において、歳入歳出それぞれ1億4千183万9千円を追加し、補正後の予算総額を51億2千186万1千円とするものであります。

次に、議案第56号平成29年度男鹿市上水道事業会計補正予算第1号については、複合観光施設建設に伴う送・配水管布設替工事費及び工事負担金などを措置したもので、収益的収支の収入で6万8千円の増額、支出で140万2千円の減額、資本的収支の収入で2千645万5千円の増額、支出で4千540万円の増額を見込んだものであります。

次に、議案第57号平成29年度男鹿市ガス事業会計補正予算第1号については、複合観光施設建設に伴うガス中・低圧管布設替工事費などを措置したもので、収益的収支の支出で31万8千円の減額、資本的収支の支出で600万円の増額を見込んだものであります。

次に、議案第58号平成29年度男鹿市下水道事業会計補正予算第1号について

は、複合観光施設建設に伴う公共下水道汚水柵設置工事などを措置したもので、収益的収支の支出で14万8千円の減額、資本的収支の支出で200万円の増額を見込んだものであります。

次に、報告第4号から報告第6号までの繰越計算書については、平成28年度の各会計歳出予算及び資本的支出予算のうち、平成29年度に繰り越した経費について報告するものであります。

次に、報告第7号和解及び損害賠償額の決定に係る専決処分については、法人が所有する自動車側溝の不具合により損傷した事故に伴う和解及び損害賠償額の決定について専決処分をしたもので、これを報告するものであります。

次に、報告第8号平成28年度株式会社おが地域振興公社の決算については、同公社の平成28年度決算について報告するものであります。

次に、報告第9号平成29年度株式会社おが地域振興公社の事業計画については、同公社の平成29年度事業計画について報告するものであります。

以上、提出議案の概要についてご説明を申し上げましたが、よろしくご審議の上、ご可決賜りますようお願い申し上げます。

○議長（三浦利通君） 以上で、本日の議事は終了いたしました。

休会の件

○議長（三浦利通君） お諮りいたします。明日13日は議事の都合により休会いたしたいと思っております。これにご異議ございませんか。

（「異議なし」と言う者あり）

○議長（三浦利通君） ご異議なしと認めます。よって明日13日は議事の都合により休会とし、6月14日午前10時より本会議を再開し、市政に対する一般質問を行うことにいたします。

本日は、これにて散会いたします。

御苦労さまでした。

午前10時50分 散 会

